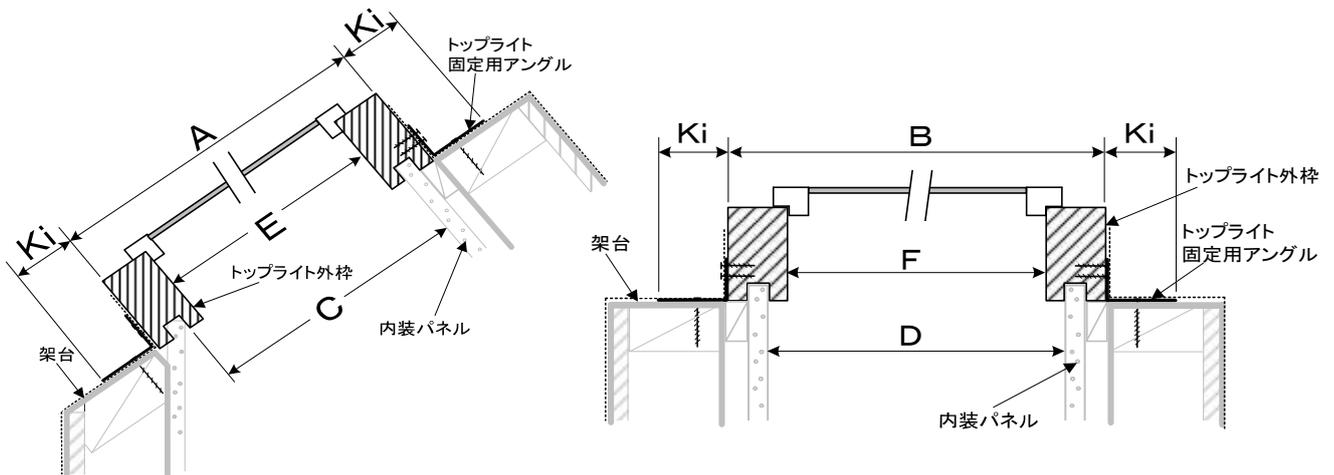


1. 対象部材

トップライト(フラット屋根用架台設置タイプ) 略称: CjK トップライト

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A : トップライト外枠外のり寸法(流れ方向)
- B : トップライト外枠外のり寸法(幅方向)
- C : 内装パネル内のり寸法(流れ方向)
- D : 内装パネル内のり寸法(幅方向)
- E : トップライト外枠内のり寸法(流れ方向)
- F : トップライト外枠内のり寸法(幅方向)
- Ki : トップライト固定用アンクル長さ

図1 - 標準(共通)化の部位

注記) 寸法E、Fのとり方は、図2の様に、網戸、ブラインド等の取付面を阻害しないとり方とする。

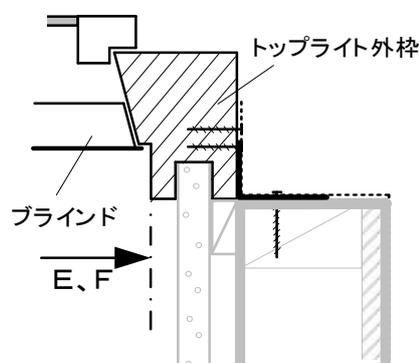


図2 - 寸法E、Fのとり方

### 3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
A：外枠外のリ (流れ方向)	$690 \leq A$ ( $< 700$ )	$540 \leq A$ ( $< 550$ )	$770 \leq A$ ( $< 780$ )	$970 \leq A$ ( $< 980$ )
B：外枠外のリ (幅方向)	$540 \leq B$ ( $< 550$ )	$770 \leq B$ ( $< 780$ )		
C：内装パネル内のり 寸法(流れ方向)	$640 \leq C$ ( $< 675$ )	$490 \leq C$ ( $< 525$ )	$720 \leq C$ ( $< 755$ )	$920 \leq C$ ( $< 955$ )
D：内装パネル内のり 寸法(幅方向)	$490 \leq D$ ( $< 525$ )	$720 \leq D < 755$		
E：外枠内のり寸法 (流れ方向)	$< 640$	$< 490$	$< 720$	$< 920$
F：外枠内のり寸法 (幅方向)	$< 490$	$< 720$		
K <sub>i</sub> ：固定用アングル 長さ	$30 \leq K_i \leq 60$			

注記) ( )内は、架台のみ込み設置の場合を示す。(図3参照)

(i=1、2、3、4)はトップライトの4辺を示す

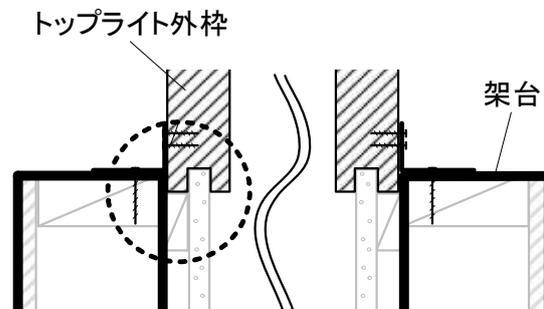


図3－架台のみ込み設置

### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 対象の範囲

- ・本基準書はフラット屋根に架台を用いて設置するトップライトを対象とする。
- ・開閉方式については、特に規定しない。

#### 5.2 躯体側の具備すべき条件

- ・フラット屋根面にトップライトを設置するための架台を有する。(図4)
- ・架台開口寸法A'、B'(図5)は、架台のトップライト設置部分の開口内のり寸法とし、表2に規定する寸法とする。
- ・架台の形状は規定しない。
- ・架台開口部は上面を平面とし、ビス固定のための下地を四辺に有する。
- ・トップライト設置面の勾配L、架台開口上面寸法J<sub>i</sub>は、表2に規定する寸法とする。

#### 5.3 対象部材と躯体の取り合い部の条件

内装パネル内面は架台の内側にあるものとし、図5に示す架台開口内面から  
トップライト外枠内面までの寸法G<sub>i</sub>、及び架台開口内面から内装パネル内面までの寸法H<sub>i</sub>  
は、表2に規定する寸法とする。

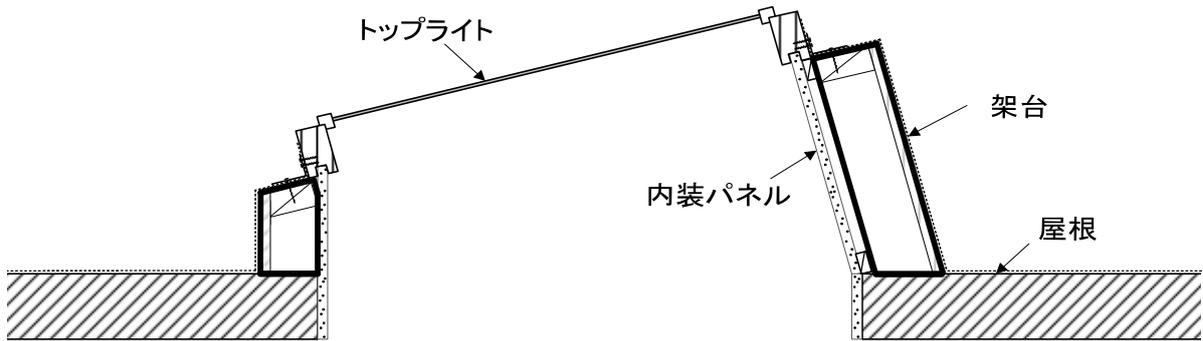


図4-トップライト（フラット屋根用架台設置タイプ）全体断面図

表2-各寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
A' : 架台開口寸法 (流れ方向)	700	550	780	980
B' : 架台開口寸法 (幅方向)	550	780		
G <sub>i</sub> : 架台開口内面 外枠内面間寸法 (i = 1、2、3、4)	≥ 30			
H <sub>i</sub> : 架台開口内面 内装パネル内面 間寸法 (i = 1、2、3、4)	12.5 ≤ H <sub>i</sub> ≤ 30			
J <sub>i</sub> : 架台開口上面寸法 (i = 1、2、3、4)	≥ 60			
L : トップライト 設置面の勾配	≥ 2.5寸			

注記)(i=1、2、3、4)はトップライトの4辺を示す

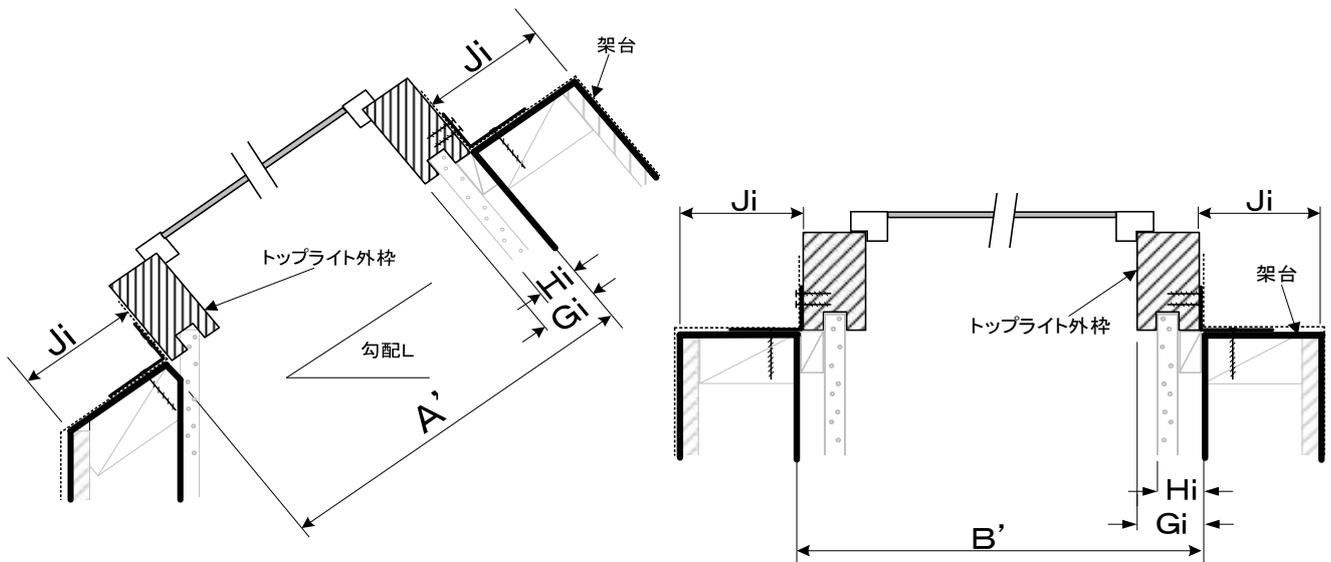


図5-トップライトと架台との取り合い

## 6. 解説

- ・ 躯体側の大幅な改修を伴わずに容易に、また開閉タイプとFIXタイプの相互の交換が可能となるように、トップライトの寸法を定めた。
- ・ 内装パネルがトップライト外枠よりもガラス側に突出しない様に、内装パネル内のり寸法、及びトップライト外枠内のり寸法を定め、架台開口寸法-60mm（片側30mm）とした。
- ・ トップライト外枠外のり寸法と架台開口寸法は、トップライト固定のためのアンクル材等の端空き寸法確保のため、クリアランスが10mm以下（片側5mm以下）となる寸法とした。
- ・ トップライトの外周四辺を固定する架台上面部の幅は60mm以上とし、トップライト固定用部位（アンクル等）の出寸法を60mm以下とした。
- ・ 内装パネル内のり寸法の上限值は、石膏ボード厚12.5mmを想定し、架台開口寸法より25mmを減じた寸法とした。
- ・ 架台のみ込み設置（図3）の場合は、架台開口寸法よりもトップライト外枠外のり寸法の方が小さい必要があるため、寸法A、Bの上限を定めた。
- ・ フラット屋根用トップライトには、ドーム型のものや架台を用いずに屋根に直接設置するもの等のタイプがあるが、架台を用いて設置するタイプを対象とした。

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。